



Go-Amiko

**Informilo de
Japana Esperantista Go-Asocio
N-ro 167, Aprilo 2023**



八ヶ岳囲碁合宿への参加をお待ちしています

2023年5月13日（土）— 14日（日） 八ヶ岳エスペラント館
Maja kunsido: 2023.5.13-14 Jacugatake-Esperanto-Domo

山梨県北杜市にある日本エスペラント協会の研修施設「八ヶ岳エスペラント館」は、この季節、新緑でとても美しくなります。新緑と静謐の中で、囲碁を楽しみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

場所：八ヶ岳エスペラント館（電話 03-3491-1349）

（中央線小淵沢で小海線に乗り換え、一つ目の駅甲斐小泉駅下車徒歩 10 分）

会費：3000円（食費は別。近所の食堂から出前を頼みます）

申し込み：堀泰雄まで。メール：horizonto@r.water.sannet.ne.jp

電話・ファックス：027-253-2524

手紙：371-0825 前橋市大利根町 2-13-3

午後 2 時ごろから対局を始めます。お昼を食べてから（持参して）お出でください。翌日は、午前中で終了します。

最低 4 人の参加で開催します。それ以下になった場合は中止します。

Maja kunsido la 13an de majo – la 14an de majo en Jacugatake-Esperanto-Domo.

Kontaktu s-ron HORI

Rete: horizonto@r.water.sannet.ne.jp

Telephone: 027-253-2524

佐々木照央さん・ご逝去



写真は 2018 年の新春囲碁大会で。一番右が佐々木さん。

私がネパール旅行をしていたその 2 日目、2 月 27 日の夕食の席で、ネパールの事務局長バラートが「アジア運動委員会（KAEM）の元委員長だった佐々木さんが亡くなった」といった。スマホに情報が出ていたのだ。私は絶句した。私より 5 つも若いのに。

実は 1 月の始めに佐々木さんから「いろいろお世話になった。堀さんのお陰で充実した人生を送れた、ありがとう」という辞世の電話を受け取っていた。私は、電話が終わって大泣きした。

佐々木さんとは 2004 年ごろ知り合って、それから親しくなった。私が KAEM の委員長に佐々木さんを後継者に据えたことが、佐々木さんが中国の棗庄大学に招かれるきっかけとなり、やがて佐々木さんが、中国春秋時代の思想家たちの著作をエスペラントに翻訳することになった。その一つ墨子は、2017 年に 400 ページの本として出版され、私はそれを読んで、佐々木さんの天才性に吃驚した。亡くなるまでに孔子、孟子、荀子なども翻訳し終えて、そのうちどれかは本になると聞いた。

佐々木さんは囲碁も好きだった。エスペランチスト囲碁協会の新年の大会では、東京大崎にある桜井信夫さんの碁会所で何回も打った。彼と私は大体同じ棋力だったので、打っていて楽しかった。2010 年 8 月の中国東北エスペラント大会と一緒に参加した時には、どこかの空港で時間待ちの間に、持って行った携帯用碁盤で 3 番うち、私が 3 連勝し、佐々木さんが悔しそうな顔をしていたことが忘れられない。

佐々木さんは、定年退職してから車の免許を取り、その後群馬県沼田市利根町追貝（おっかい）という、名前こそ沼田市だが、以前は利根村といった、もうスキー場も間近かな村に中古住宅を買って住み始めた。幼いお嬢さんも連れてしばらくはそこに住んでいて、本人はずっと住み続けたかったようだが、何しろそのあたりには子どももいない限界集落で、保育園に行くにも、峠を越えて 40 分も車で送り迎えをしなければならなかったの、たぶん 1 年も経たないうちにあきらめ、また元のさいたま市のマンションに戻った。しかし、週末には追貝に戻って、自然を楽しみ、同時に執筆活動などもしていた。私も一度泊まりに行ったことがある。彼は朝 5 時ごろに起きて、飼っていた猫にリードを付けて散歩し、NHK 語学講座が始まると、何かをしながらそれに耳を傾けていた。

そんなことで、佐々木さんは追貝の行き帰りに時々我が家へ寄ってくれた。昨年私が出版した「1930 年代のエスペランチストたち」では、ソ連からの手紙やはがきの解読の手助けをしてくれた。お互いに、肝胆相照らす仲という感じで、それだけに佐々木さんが亡くなってしまったことは、心の中に大きな穴が開いたようだ。

佐々木さんは若い中国人の奥さんと小学生のお嬢さんを残して旅立ってしまった。きっとそれが心残りだったことだろう。お二人が、これからも幸せに過ごしてゆくことを願ってやまない。佐々木さん、いろいろありがとう。私はもうちょっと生きて、エスペラントとエスペランチスト囲碁協会に貢献するから、それまであの世で腕を磨いて待っていてください。

堀泰雄

Forpasis s-ro Sasaki Teruhiro

En la lasta jaro li jam eksuferis pro okuldoloro kaŭzita de tumoro en la cerbo, kaj li ricevis kelkfojajn operaciojn, sed tio ne savis lin, kaj li mortis la 26an de februaro 2023 en la aĝo de 76 jaroj.

Emeritiĝinte de la universitato Saitama, li komencis instrui Esperanton kaj la japanan lingvon en la ĉina universitato Zaozhuang. Bonŝance la universitato situas en la regiono, kie antaŭ 2200 jaroj vivis famaj filozofoj, kaj li komencis traduki iliajn verkojn en Esperanton. Tio estas grandega kontribuo al Esperanto.

Li estis go-amanto. En la foto de la turniro en januaro 2018, s-ro Sasaki staras plej dekstre. Li nenion tenas en la mano, do lia rezulto ne estis bona. Revenante hejmen de la turniroj ni foje trinkis bieron kaj interparolis pri diversaj temoj. Mi peridis bonegan amikon. HORI Jasuo

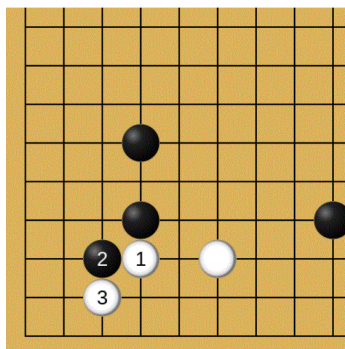
囲碁の格言 Saĝaj vortoj pri Go-ludo

囲碁の格言を覚えておいて、場面場面でそれを思い出すと、良いヒントにもなるし、冷静になります。

Saĝaj vortoj pri Go-ludo povas esti tre utilaj. Kiam tiu situacio aperas, vi rememoru tiujn. Vi povas esti trankvila kaj juĝi ĝuste.

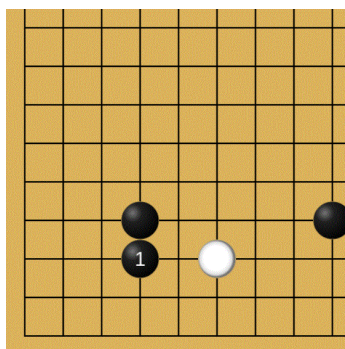
サバキはツケから Trovu vojon per tuŝmeto.

敵の勢力圏内でサバクときには、相手の石にツケて調子を求めるとよい。白1のツケから3とハネてサバキを目指す。



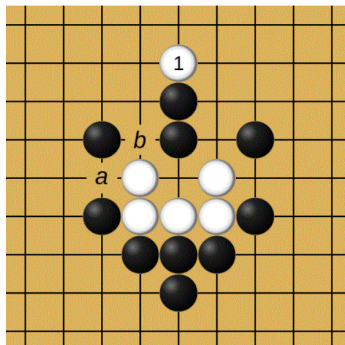
サバキ許さぬブラサガリ Malebligu kontraŭulan rimedon per ferfosto.

自分の勢力圏内に敵が打ち込んできた場合、相手に付け入る隙を与えないブラサガリの形が有効である。黒1のような手。



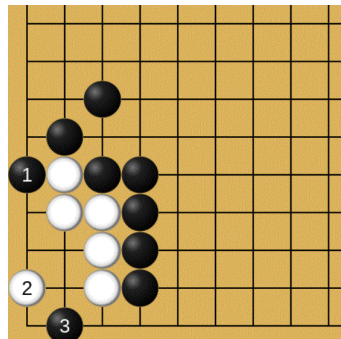
左右同型中央に手あり Simetria formo havas rimedon sur ĝia akso

左右対称の形では、中央に急所があることが多い。図では、白1が唯一の脱出手段となる。aやbに出ても白5子は脱出できない。



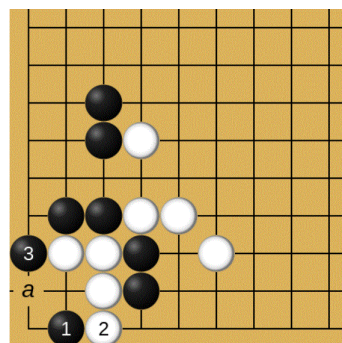
死はハネにあり Mortigu per bato sur la teron.

相手のフトコロを狭めるハネは、しばしば敵の死命を制する。図では、黒1のハネで白はどう打っても死ぬ



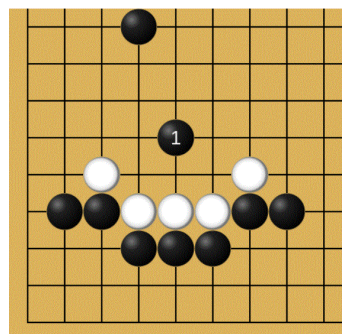
隅の急所は二の一 Fatala estas 2-1 punkto.

絶隅（一の一）は、一手でアタリになる、二手で眼を作れるなど特殊な環境にある（隅の特殊性）。これを利用し、その隣である二の一の点が、死活や攻め合いの急所になる場合が多い。下図では、黒1と「二の一」の点に打つのが急所で、攻め合い勝ちとなる（ただし反対側の a に打ったのでは負け）。



三子の真ん中 Centro de triopo.

ダメが詰まった三子の石は、その真ん中から一路離れた位置が急所となる。黒1が「三目の真ん中」の急所になる。白から打つ場合も、同点に打って形を整える



攻める石にツケるな

Ne tuŝmetu sur ŝtonon kiun vi atakas.

スソアキ囲うべからず

Ne penu fari teritorion kie la flanko estas malfermita.

シチョウ知らずに碁を打つな

Ne ludu goon sen scii ŝtuparon.

初碁にコウなし

En komenca stadio ne troviĝas kompenso por alterne-kapto.

碁笥の話



碁笥（ごけ、または、ごす）とは、碁石を入れる容器。白石用と黒石用の2個で1組となっている。材質は最高級品は桑（特に御蔵島産の「島桑」が珍重される）、次いで柿、紫檀、黒檀、一般的に用いられているものは欒、花梨、桜、楠、ブビंगा、栗、棗、合成樹脂などがある。表面は木地を出すことが多いが、凝ったものには蒔絵や鎌倉彫を施したものも見受けられる。古くは合子（ごうす）と呼ばれ、正倉院には渡来した精緻な美術品である「銀平脱合子」が収蔵されている。江戸時代には筒型に近い本因坊型と、丸みのある安井型があった。現代で使われているのは安井型に近いものが多い。碁笥には蓋があり、対局中にアゲハマを入れておくのに用いられる。

Rakonto pri *Goke*

Goke (*gosu*, go-bovlo) estas ujo, kiu tenas go-ŝtonojn. Oni bezonas du *goke*-ojn, unu por blankaj ŝtonoj kaj la alia por nigraj ŝtonoj. Ĝia plej altkvalita materialo estas morusujo (« la insula moruso » el la insulo Mikuraŝima estas precipe aprezata), sekvata de persimono, rozarbo, kaj ebono. Malmultekostaj estas faritaj el zelkovo, piro, sakura, kaŝtano kaj plej malmultekosta el plastaĵo ktp. La surfaco ofte estas nuda ligno, sed ekzistas ankaŭ ellaborita kun laklaboro kaj Kamakura ĉizado. En la malnova tempo ĝi estis nomita *gosu*, kaj en la Ŝoosoojn (imperiestra magazeno en Nara Epoko, 1200 jaroj antaŭe) troviĝas tre luksa *gosu* importita el Ĉinio.

En la Edo-epoko, ekzistis du-formojn de *goke* ; la Honinbo-tipo, kiu estas proksima al cilindra formo, kaj la Jasui-tipo, kiu havas rondetan formon. Multaj el tiuj uzataj hodiaŭ estas similaj al la tipo Jasui. Kovriiloj de *goke* estas uzataj por konservi *Agehama* (kaptitaj ŝtonoj) dum la ludo.